



大宮地本情報づくり研修 11月16日 三鷹事件踏査

大宮地本主催で地本情報づくり研修が開催され、三鷹の地で踏査行動を行いました。今回の研修は地元である八王子地本も参加し三鷹事件について学ぶことが出来ました。



↑三鷹駅1番ホームの脇にある線路(当時の下り1番線)この線路上に無人の暴走列車が衝突した。当時は駅ビルがなかったため、東京方にさらに伸びていた

暴走列車が衝突した交番(左の建屋)とその周辺
当時と同じ位置に現在も交番があり、その先まで衝突した列車が進んだ↓



↑三鷹車両センター前の公園にある「三鷹事件五十年碑」「謀略事件」である三鷹事件を風化させないため、東労組が募った浄財で1999年に建立した

三鷹駅高尾方にある陸橋は太宰治ゆかりの地としても有名。老朽化で現在は渡れないが、当時と変わらない三鷹電車区(三鷹車両センター)の風景が見える↓

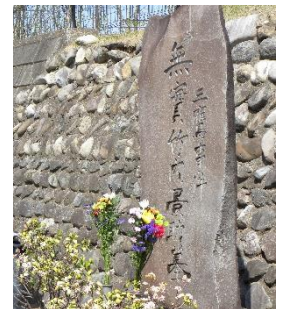


三鷹事件由来の場所は他にもあります

★また当日は行けませんでした。三鷹市の禅林寺には三鷹事件で犠牲となった6名の名を刻んだ「三鷹事件遭難犠牲者慰霊塔」があります。今年の7月15日には八王子地本OB会を中心に三鷹事件慰霊行動を行い、慰霊塔に花を手向けています→



★三鷹事件で一人罪を被る事となり、最終的に無実を晴らすことが出来ないまま獄中で亡くなった竹内景助氏のお墓が、八王子市の富士見台霊園にあります。また同墓地には三鷹事件の記念碑も建立されています。以前八王子地本が中心に行っていた、ユニオンスクールでは、墓地・記念碑に花を手向けています→



そもそも「三鷹事件」とはどんな事件だったのでしょうか…

- ・戦後日本で発生した「三大謀略事件」の一つ
 - 三大謀略事件＝「下山事件」1949年7月5日に国鉄の下山総裁が行方不明となり、翌日に轢断死体で発見された。人員整理に反対する国労や共産党に目が向けられた。
 - 「松川事件」1949年8月17日に東北本線の松川～金谷川を走行していた列車が脱線転覆し乗務員3名が亡くなる。現場では線路の継目が外されていた。
 - ・1949年7月15日夜に、三鷹駅で発生した電車転覆事件。国鉄三鷹電車区(現:三鷹車両センター)に留置中の無人電車が突然暴走し、隣接する三鷹駅の突入し脱線転覆。駅を利用していた6名が亡くなり、20人が負傷した。⇒ **7月13日に国鉄第2次解雇(国鉄職員の大リストラ)が通告されている**
 - ・警察やGHQ(米占領軍)は当初、共産党や労働組合活動家の計画的犯行を示唆。10名が逮捕された。⇒ **当時は朝鮮戦争開戦前夜であり、米軍による戦争に反対する一大勢力が共産党や国労であった**
 - ・最終的には竹内景助氏の単独犯とされ死刑判決。獄中で無罪を訴えたが1967年に獄中で病死した。
- これを現在に当てはめると…
- ・台湾海峡や朝鮮半島などの東アジアで不穏な動き⇒ **戦争開戦前夜の流れ**
 - ・当時は反戦平和を訴える労働組合は多くあったが、その運動をリードしていたのが国労
 - ⇒ **今は反戦平和を訴える労働組合は少なくなった中で運動をリードしてきたのがJR総連、東労組**
 - ・当時は鉄道が軍事輸送や兵士輸送を担う交通手段⇒ **今も貨物が戦車を輸送。鉄道が戦争に使われる**
 - ・朝鮮戦争により日本は特需による好景気となり、戦後日本の日本経済が発展してきた
 - ⇒ **今も戦争により重工業などの軍需産業は好景気。昔から戦争は金儲けの手段に使われている**
- ★「えん罪・JR浦電事件」も戦争に反対する労働組合をつぶすために仕組まれた冤罪事件。
「三大謀略事件」も「えん罪・JR浦電事件」も反戦平和を訴える団体を潰すための攻撃である!

今こそ「三大謀略事件」の歴史を学び、反戦平和を推し進める仲間と連帯しよう!